

LINO通信 9月号

令和2年8月28日発行

外に出ればまだまだ汗ばむ季節ではありますが、少しずつ秋の訪れを感じるようになってきました。今年は新型コロナウイルスの影響でご家庭でも夏の遊びを満喫できなかったと残念に思っていることだと思います。今後も影響は続きそうです。引き続き LINO でも手洗い、消毒を徹底し、たくさん遊んで心も体もコロナに負けないよう子どもたちと一緒に頑張っていきたいと思っております。

来月は LINO カフェを計画しています。保護者の皆様にも楽しめる内容になっていますので楽しみにしててください。詳細は後日、別紙にてお知らせいたします。

※ LINO 前の道路は駐車禁止の為、近くのコインパーキングをご利用ください。

☆ 放課後等デイサービス ☆



LINO が開園して、早3か月過ぎようとしています。こども達は、LINO の生活にも慣れ、日々の出来事に一喜一憂し、それぞれのペースで活動しながらも、その場に合ったふさわしい対応を自分自身で理解し、協調性を学びつつ活動を楽しんでいます。その中で、『やったー』『もっとやりたい』という声も沢山聞かれ、楽しさを職員と共に分かち合う日々です。これからも色々な活動を通し沢山の経験・知識を LINO で培っていければと思います。



《活動計画》 月間目標 「早寝、早起きで生活のリズムを作る」

月	火	水	木	金	土
	1 ルール遊び	2 課題遊び	3 感触遊び	4 LINO サミット	5 クッキング
7 勉強会 「コロナと手洗い」	8 運動遊び	9 ルール遊び	10 外遊び	11 運動遊び	12 休み
14 課題遊び	15 外遊び	16 音楽遊び	17 生活活動	18 外遊び	19 作って遊ぼう
21 敬老の日	22 秋分の日	23 外遊び	24 課題遊び	25 避難訓練	26 外出活動
28 外遊び	29 生活遊び	30 運動遊び			

《 放デイからのお知らせとお願い 》

☆5日は、クッキングを行います。エプロン、三角巾・マスクを持参して下さい。
(爪を切ってきてください)

☆26日は外出活動にて「買い物」を計画しています。当日、利用予定の方は300円を財布に入れて持たせて下さい。

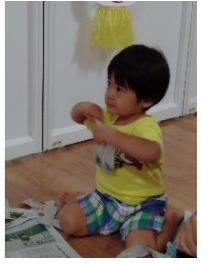
(コロナの影響で活動が変更になることもありますのでご了承ください。)

☆ 児童発達支援 ☆

少しずつ LINO で過ごすことにも慣れ「やってみよう！できた！」を表情や言葉で表現する子どもたちの姿が見られます。8月、太陽の日差しが照りつける中 LINO 目の前の公園に木陰を発見！自分で作ったペットボトルシャワーを使い水の流を感じ、バシャバシャと跳ねる水しぶきに声を上げて喜び、夏ならではの“水遊び”を満喫しました。

室内活動では、手指の巧緻性を養うことをねらいとした活動を沢山取り入れています。身近な素材を使用した“新聞ビリビリ”の活動は、ちぎる・ちらす・丸める等を、保護者の方も一緒に笑顔を見せながら楽しんでいました。

9月は、散歩や感覚統合遊びにも取り組んでいきます。



《活動計画》

クラス	月	火	水	木	金
ぱんだ		1	2	3	4
うさぎ		外出活動	触れ合い遊び	制作遊び	制作遊び
ぱんだ	7	8	9	10	11
うさぎ	外出活動	外出活動	触れ合い遊び	感覚遊び	感覚遊び
ぱんだ	14	15	16 ミュージック	17	18 感覚遊び
うさぎ	外出活動	運動遊び	セラピー	制作遊び	外出活動
ぱんだ	21	22	23	24	25
うさぎ	敬老の日	秋分の日	触れ合い遊び	避難訓練	避難訓練
ぱんだ	28	29	30		
うさぎ	外出活動	外出活動	触れ合い遊び		

《 児童発達支援からのお知らせ 》

☆9月より給食がスタートします。(午前ぱんだクラス)

☆各クラス平常時間に変更になります。ご確認ください。

☆9月よりミュージックセラピーがスタートします。(午後クラスの時間帯で開講予定です。)

・ぱんだ…10時～13時 (昼食指導あり)

・うさぎ…14時～16時 (おやつあり)

《 コラム 》 「家庭の食卓」

今回は「家庭の食卓」についてお話してみようと思います。

成長期の子どもにとって、元気に育つように栄養のバランスが気になるものですが「楽しく食べる」ことも同じようにとっても大切なことなのです。楽しい食卓では自然と偏食も少なくなり、会話もはずみコミュニケーション能力の向上にもつながります。子どもが小・中学生ともなると次第に親の話を聞くことをめんどくさがるような態度をみせることがあるでしょう。それでも常日頃から美味しい食事を囲んで語り掛けていければ子どもは口に出さなくてもしっかりと聞いているものです。食卓が「話をする場所」になっているのです。

子どもが悩んだり困ったりしたときに親に相談できる、そんな場所になる「楽しい食卓」作りの為に今から忙しい毎日の中でも少しの時間をメディアから離れ、親子で食卓を囲み会話をしながら楽しく食べることを心掛けてみてはいかがでしょうか。

文責：篠原和子